

**【黒石市】**  
校務D X計画

1 校務D Xを推進する上での課題

小中学校において、教職員が手書きや手作業で行っている校務を効率化し、教職員の負担を軽減することが課題となっています。

2 校務D Xを推進するための課題解決策

(1) 統合型校務支援システムの導入

小中学校で使用する、パブリッククラウド上での運用を前提とした統合型校務支援システムを令和7年度中に導入し、令和8年度から稼働する予定です。

統合型校務支援システム導入後は、システムとの連携を想定したデジタル採点システムや、学校と保護者の双方向連絡ツールなどの導入も検討し、次世代の校務デジタル化を支える環境を構築します。

また、統合型校務支援システムの効果的な活用と執務環境の利便性向上のため、小中学校に校務用ノートパソコンを順次導入するとともに、校務用無線アクセスポイントを整備します。

これにより、統合型校務支援システムを利用した校務や、その他の校務（職員会議、保護者面談、オンラインの研修や会議への参加）を職員室以外で行うことが可能となり、教職員の利便性向上が図られます。

(2) 校務の効率化・ペーパーレス化の促進

学校や教育委員会から保護者に対する各種連絡をデジタル化するため、メール配信システムを導入したことにより、ペーパーレス化や情報伝達の迅速化とともに、教員の業務軽減を実現しました。

また、学校と教育委員会とのやり取りでは、一部を除きFAX不使用や押印廃止をしています。今後もさらに校務の効率化やペーパーレス化を推進していきます。